

# 「天のつぶ」の高密度播種苗栽培では側条施肥や側条2段ペースト施肥によって初期分けつを促進できる

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

部門名 水稻－水稻－施肥法

担当者 鈴木寛人、新妻和敏、鈴木幸雄

## I 新技術の解説

### 1 要旨

本県では育苗資材費の低減や移植作業の省力化を目的とし、水稻の高密度播種苗栽培（播種量250～300g/箱）の導入が進んでいる。しかし、高密度播種苗は移植適期が短く苗が老化しやすいため、初期分けつの発生が遅れ、減収につながる懸念される。「天のつぶ」の高密度播種苗栽培における側条施肥、側条2段ペースト施肥、全層施肥の生育を比較したところ、側条施肥及び側条2段ペースト施肥では初期分けつが促進され、穂数を多く確保できることが明らかとなった。

- (1) 側条施肥及び側条2段ペースト施肥を行うと、初期分けつが多かった（図1）。
- (2) 側条施肥及び側条2段ペースト施肥を行うと、穂数、籾数が多くなった（表1）。
- (3) 2022年度において側条施肥区では穂数が確保され精玄米重が向上した（表1）。

### 2 期待される効果

- (1) 高密度播種苗栽培における収量や収益の高位安定化が期待される。

### 3 適用範囲

- (1) 県内にて高密度播種苗栽培を行う生産者

### 4 普及上の留意点

- (1) 窒素の多いほ場では、全層施肥と側条施肥で初期分けつや穂数に大きな差が見られない場合がある。

## II 具体的データ等

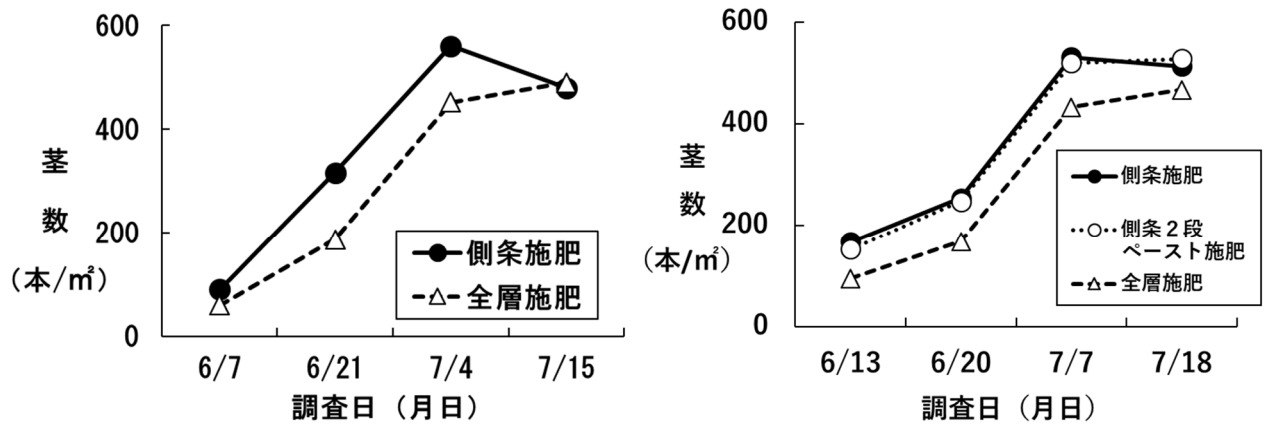


図1 茎数の推移(左図:2022年度、右図:2023年度)

注1) 苗は高密度播種苗(播種量 250g/箱)、育苗日数 20 日、育苗は出芽機を用いた加温出芽で、ビニルハウスにて育苗した。

注2) 肥料は側条施肥区、全層施肥区に「基肥一発天のつぶ 2200(N:P:K=22:10:10)」、側条2段ペースト施肥区に「ネオペースト SR502(N:P:K=15:10:12)」を施用した(施肥量は窒素成分で 0.9kg/a とした)。

注3) 側条2段ペースト施肥区の上段(5cm 深)と下段(15cm 深)の肥料比は 1:1 である。

表1 収量、収量構成要素など

試験年次	区名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	精玄米重 (kg/a)	m <sup>2</sup> 籾数 (百粒)	千粒重 (g)	登熟歩合 (%)
2022	側条施肥	8/12	9/27	471	70.1	350	22.8	87.8
	全層施肥	8/14	9/28	411	66.4	338	22.4	87.8
2023	側条2段ペースト施肥	8/7	9/16	507	74.5	401	21.9	84.7
	全層施肥	8/8	9/16	440	76.4	380	22.4	89.9

注) 精玄米重は篩目1.8mm以上で算出、水分は15%に調製した。

## III その他

### 1 執筆者

鈴木寛人

### 2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4～5年度
- (2) 研究課題名 作物の有望系統の栽培技術の確立  
(新稲作研究会委託試験)

### 3 主な参考文献・資料 なし